

療養病棟のご紹介



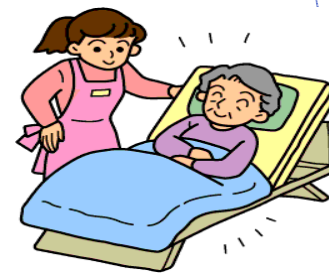
ベッド数

- ▶ 1人部屋 4床
- ▶ 2人部屋 3床
- ▶ 4人部屋 8床



計 42床の病棟です

療養病棟の特徴



一般病棟での急性期治療を終えられた患者様が、引き続き慢性期の治療や療養上必要なケアを受けながら、退院後の生活環境を整えるために過ごされる病棟です。

また、療養生活を送る中で、人生最後の大切な時間を過ごす方もおられます。

浴室は2種類あり、 患者様の状態に合った入浴介助を行っています

寝たまま入れるミスト浴



座って入れるカトリア浴



療養病棟には高齢の方の入院が多いため、 床ずれ予防にも力を入れています

病棟で使用している褥創予防の高機能マットあれこれ・・・



現在病院には高機能マットを含むベッド
マットが計7種類あります。
患者様の状態に合わせて、一人一人に
適したマットを選択して使用しています。

褥創予防や皮膚保護のために
保湿ケアやスキンケアにも力を入れて
取り組んでいます。

保湿ケア用品のあれこれ・・・

最近では保湿ケア用品も種類が多くあり、選ぶのも楽しいですよ♪



患者さまの状態に合わせた形態のお食事を提供しています



私達病棟スタッフは・・・

患者様がその人らしく療養生活を送られること、
患者様・ご家族様の

「こうしたい」「こうありたい」を
1つでも多く実現出来ることを目標に、
日々患者様のお世話をさせて頂いています。



例えば「寝たきりだけど、家族を自宅に退院させたい！」と、言う希望があれば・・・

身体の向き変えの介助方法について

＜準備するもの＞

- 座布団（右足用：1枚）
※座布団は2つ折りにして使いましょう
- ビニール袋：1枚（背中のおしり用）



＜体位交換の方法＞

●左を向いてもらう時：

- ・「背中（肩甲骨の上あたり）」と「おしり」を支えるようにしましょう！
身体の広い面積の部分を支えてあげることで、より少ない力で横に向いてもらうことができます。
- ・足の間に座布団などの厚みのあるクッション（座布団）を入れましょう！
動いたときに骨折した足（右足）への負荷と痛みを軽減することができます。

▼左向きを介助したとき



拡大すると・・・

背中とおしりで支える！

●右を向いてもらう時：

- ・足の間にクッション（座布団）は、いりません。
- ・左足を曲げてもらうと、楽に横に向いてもらうことができます。
- ・本人にベッドの欄を持ってもらうと、横向きの姿勢が安定しやすくなります。

▼右向きを介助したとき



＜眠るときの体位＞

- ・両足、もしくは骨折している足の下に折りたたんだ座布団をおきましょう！
- ・自動体位交換機能のあるベッドのため、定期的に体位交換を行う必要はありません。

●夜間の圧抜きの方法：

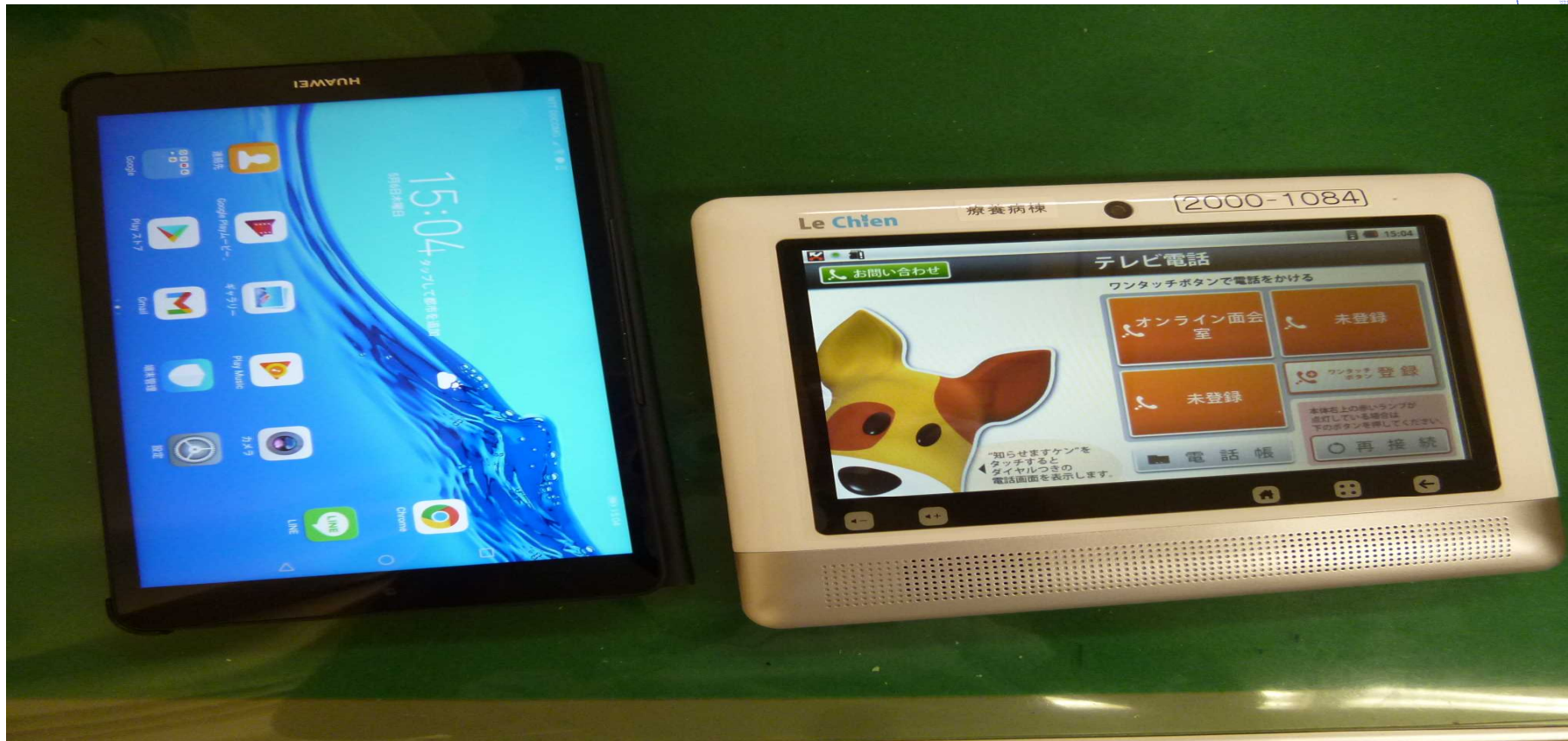
- 夜間は息子が起きられたときに、1回しましょう！
*「どちらか一方に横向きになってもらう」
*ビニール袋を手で被せ、本人とベッドの間に「肩→背中→お尻→足」の順で滑り込ませる



このように

退院後の生活に向けて多職種と連携をしながら、環境調整や本人と家族様の想いに寄り添った退院指導を行っています！

今はコロナ禍で直接面会は出来ませんが
オンライン面会（Line・テレビ電話）の
お手伝いをさせて頂いています。





ライン面会中の
様子です



画面越しにでも、ご家族の顔が見えると、
患者様も自然と笑顔になっておられます😊
(オンライン面会中の様子です)



ご家族はここで
オンライン面会をしています！

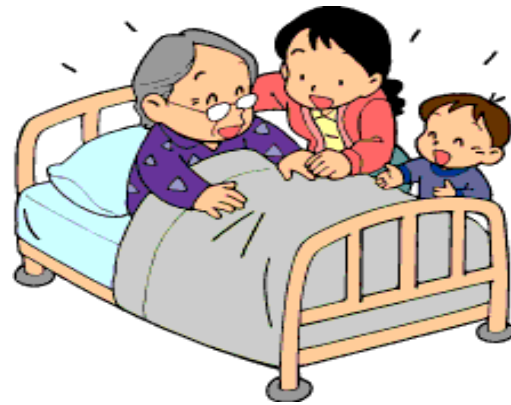


療養病棟からの眺めはとても良いです。
今年の桜は花期が長く
そのぶんたくさんお花見ができました。

今年も
桜が綺麗だわ～



1日でも早くコロナが終息して、
患者様とご家族様が
同じ時間を同じ場所で過ごせま
すように・・・



療養病棟スタッフ一同